

# 2009年度事業報告書

(2009年4月1日－2010年3月31日)

財団法人 関西盲導犬協会

## I. 管理部門

### (1) 総務

#### ① 会員

2010年3月末の総会員数は1469件（前年度1426件）であり、うち新規入会数は152件、退会数は109件であった。各会員の詳細は次のとおりであった。

- a. 維持会員（会員数412件／前年比35件増／会費納入率73%）
  - ・内訳（継続242件／新規60件／1年未納64件／2年未納46件）
  - ・退会25件（自主退会4件／3年未納21件）
- b. 賛助会員（会員数939件／前年比21件増／会費納入率70%）
  - ・内訳（継続577件／新規84件／1年未納143件／2年未納135件）
  - ・退会63件（自主退会28件／3年未納35件）
- c. 青少年会員（会員数46件／前年比4件減／会費納入率52%）
  - ・内訳（継続22件／新規2件／1年未納15件／2年未納7件）
  - ・退会6件（自主退会2件／3年未納4件）
- d. 法人会員（会員数47件／前年比8件減／会費納入率72%）
  - ・内訳（継続32件／新規2件／1年未納5件／2年未納8件）
  - ・退会10件（自主退会6件／3年未納4件）
- e. 後援会員（会員数25件／前年比1件減／会費納入率80%）
  - ・内訳（継続16件／新規4件／1年未納3件／2年未納2件）
  - ・退会5件（自主退会1件／3年未納4件）

#### ② 募金箱

- a. 2009年度の募金箱回収状況は次のとおりであった。
  - ・2010年3月末の設置店舗数1435件（新規330件／引上132件）
  - ・回収件数767件（直接回収594件／振込回収173件）
  - ・回収金額10,809,844円  
（直接回収6,129,293円／振込回収4,680,551円）
- b. 個人募金箱の振込状況は次のとおりであった。
  - ・2009年3月末の振込件数56件（前年比1件増）
  - ・回収金額281,333円（前年比905円減）

#### ③ 街頭募金

2009年度の街頭募金額総計は8,477,456円であり、その内訳は次のとおりであった。

- a. 関西盲導犬協会ボランティアの会（以下、クイールの会と記載）の協力による街頭募金（24回 合計4,584,537円）
- b. 協会職員による街頭募金（25回 合計3,892,919円）

### (2) 経理

#### ① 別紙収支報告書参照

#### ② 特定公益増進法人認定の再申請を行った。（2010年3月末、認定待ち）

### (3) 渉外

①広報担当であった職員の1名を渉外専任とし、行政・各種団体・民間企業など協力者および募金箱設置協力者の開拓を行った。

#### ②募金自動販売機の設置

2010年3月末の設置台数は39台であり、寄付額総計476,306円であった。

協力企業（関西キリンビバレッジサービスグループ・ジャパンビバレッジ・コカコーラウエスト・他）

### (4) 新公益法人対策

公益財団法人認定に向けた会議の開催ならびに規程の整備を実施し、2010年3月25日内閣府へ認定の申請を行った。相談・会議・規程の整備については次のとおりであった。

#### ①新公益法人に関する相談

4月8日 最初の評議員の選任ならびに定款変更案の相談（京都府）

9月2日 定款変更案に関する相談（京都府）

9月28日 定款変更案および申請に関する相談（内閣府）

11月18日 定款変更案および経理関係に関する相談（内閣府）

1月22日 定款変更案および関連規程に関する相談（内閣府）

1月25日 定款変更案および関連規程に関する相談（京都府）

3月2日 申請書に関する相談（内閣府）

#### ②開催した会議等

6月20日 第1回新公益法人準備委員会（定款変更案の審議）

7月18日 第2回新公益法人準備委員会（最初の評議員候補者名簿の作成）

8月1日 第1回臨時理事会評議員会（定款変更案の審議・最初の代表理事・業務執行理事の選任）

9月5日 最初の評議員選考会議（最初の評議員の選任）

1月30日 第2回臨時理事会評議員会（定款変更案および関連規程の審議）

3月13日 第3回臨時理事会評議員会（申請書の審議）

#### ③整備した規程

定款（変更案）／講演依頼・施設見学規程／取材等対応規程（改正）／共催・後援・協賛等の名義使用等に関する規程（改正）／協会名義等使用規程（改正）／募金箱設置規程（改正）／寄付取扱規程／会員規程／役員選任・解任規程／評議員選任・解任規程／役員等報酬および費用支払いに関する規程／盲導犬貸与規程／盲導犬貸与委員会規程／リタイア犬譲渡に伴う支援規程（改正）／盲導犬育成引当資産取扱規程／盲導犬医療費引当資産取扱規程／財政調整引当資産取扱規程

## II 事業部門

### (1) 盲導犬育成事業

#### ①繁殖

a. 2009年度の繁殖状況は次のとおりであった。

・パピーウォーカーに委託したパピー頭数50頭

・当協会で作られたパピー頭数40頭（うち27頭をパピーウォーカーに委託）

・他協会から譲り受けたパピー頭数23頭

譲り受け内訳（北海道盲導犬協会1頭／東日本盲導犬協会1頭／中部盲導犬協会9頭／九州盲導犬協会6頭／台湾導盲犬協会2頭）

・2010年3月末の繁殖犬総数36頭（内訳 オス17頭／メス19頭）

うち新規繁殖犬登録数9頭（内訳 オス6頭／メス3頭）

- b. AGBN (アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク)の実務担当者会議 (4回開催)に繁殖担当を派遣した。
- c. フィンランド盲導犬協会に繁殖担当職員を派遣した。(2009年7月)  
またフィンランド協会から導入した凍結精液による人工授精を実施し、子犬3頭を出産させた。(2010年1月)
- d. 繁殖ボランティアを対象とした視覚障がい理解のための講習会を実施した。(2010年2月)
- e. 繁殖ボランティアに対し、繁殖犬が関わる事故等に対処するための賠償保険を掛けた。  
なお、2010年3月末までに事故等の発生はなく、2009年度は保険金の申請はなかった。

## ②パピー

- a. 2009年度のパピーウォーキングの状況は次のとおりであった。
  - ・2010年3月末のパピーウォーキング中のパピー頭数45頭
  - ・新規のパピーウォーカー31件
  - ・2010年3月末のパピーウォーカー申込待機者数8件
- b. 月1回の巡回指導および訓練センターでのパピースクール(8回のべ52家族参加)・パピーウォーキングセミナー(2回のべ34家族参加)を実施した。
- c. 全パピーウォーカーに対してパピーが関わる事故等に対処するため賠償保険を掛けた。  
なお、2010年3月末までには事故等発生はなく、2009年度は保険金の申請はなかった。

## ③訓練

2009年度に訓練を開始した犬の頭数は53頭であり、詳細は次のとおりであった。

- a. 2009年度末、訓練中の頭数 23頭
- b. 盲導犬となった頭数 4頭
- c. 繁殖犬となった頭数 4頭
- d. キャリアチェンジとなった頭数 22頭

## ④盲導犬

- a. 2010年3月末の実働盲導犬数87頭(ユーザー数89人)であり、昨年度比9頭(9人)増であった。
- b. 盲導犬が十分なケアのもとに活動ができるよう体制を整えることを目的とした「盲導犬との生活に関するアンケート」調査を実施・集計し、アンケートの協力を依頼したユーザーに結果を報告した。その結果によれば、盲導犬について全体的に高い評価が得られたが、訓練する作業内容については、ユーザーの生活に適した盲導犬の育成ができるよう、ユーザーのニーズに合わせ吟味する必要が示唆された。アンケート結果を踏まえ、今後の盲導犬育成体制を整備して行くこととした。

## ⑤キャリアチェンジ

2009年度のキャリアチェンジ犬の状況は次のとおりであった。

- ・譲渡したキャリアチェンジ犬頭数26頭
- ・キャリアチェンジ犬の譲渡申込待機者数165件

## ⑥リタイア

- a. 2009年度のリタイア犬の状況は次のとおりであった。
  - ・2010年3月末のリタイア犬頭数50頭(内訳 譲渡48頭/飼養委託2頭)
  - ・リタイアした頭数6頭(うち繁殖犬1頭)
  - ・死亡したリタイア犬頭数6頭
  - ・リタイアボランティア待機者数38件

- b. クイールの会の協力を得て、リタイア犬の医療費およびリタイア犬の葬儀費の助成を行った。(医療費助成件数19件、助成金額734,420円/葬儀費助成件数5件、助成金額130,500円)

## (2) 視覚障がい者事業

### ①歩行指導

2009年度は14頭の盲導犬を育成し、15人の視覚障がい者に盲導犬を貸与した。

(貸与した15頭のうちの1頭については、ユーザーの都合でリタイアした犬を別の希望者に再貸与したため、その犬は育成数から除いた。)

内訳は新規貸与者8名と代替者7名であった。年度末に歩行指導を予定していた候補者が訓練開始直前に体調不良による理由で歩行指導のキャンセルを申し出る事態が2名続き、代替りの候補者選びに時間を要したが、事業計画どおり15人の歩行指導を実施し盲導犬を貸与した。2009年度は新規の貸与者が多く(半数を占める)、そのため盲導犬使用者も増加する結果になった。詳細は次のとおりであった。

使用者証 NO	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日	新/代
7293	女	岡山県	リーアム	ラブラドル	雄	4月25日	代替
7294	男	神奈川県	ダグ	ラブラドル	雄	5月19日	代替
7295	女	滋賀県	カーク	ラブラドル	雄	6月5日	代替
7296	女	大阪府	タミー	ラブラドル	雌	7月17日	代替
7297	女	愛媛県	プルート	ラブラドル	雄	7月31日	新規
7298	女	滋賀県	テラ	ラブラドル	雄	7月31日	新規
7299	女	岡山県	エール	ラブラドル	雄	10月30日	新規
7300	女	京都府	ヴィック	ラブラドル	雄	12月4日	新規
7301	女	京都府	イースト	ラブラドル	雌	12月4日	新規
7302	女	大阪府	ハニー	ラブラドル	雌	1月25日	代替
7303	女	和歌山県	フィット	ラブラドル	雄	2月12日	新規
7304	女	京都府	フェスタ	ラブラドル	雄	2月26日	代替
7305	男	大阪府	オーレ	ラブラドル	雄	3月19日	代替
7306	女	京都府	エレナ	ラブラドル	雌	3月27日	新規
7307	女	京都府	キース	ラブラドル	雄	3月27日	新規

### ②視覚障がい支援職員の採用

ユーザーおよび視覚障がい者の支援を中心に活動する職員1名を5月に採用し、体験歩行会・視覚障がいに関する啓発・貸与希望者の面接・ホームページのリニューアル作業などを中心とした業務を行った。

### ③フォローアップ

2009年度のフォローアップ実施件数は144件(2008年度121件)であった。

15人の歩行指導および候補者の選定等に歩行指導員が時間を取られ、全ユーザーへの自宅訪問は実施できなかったが、訪問できなかったユーザーには訓練センター来所時のフォローならびに電話などによる状況確認を実施した。その内訳は、次のとおりであった。

- ・定期フォローアップ(51件)
- ・ファミリーリゼーション(13件)
- ・共同訓練後のフォローアップ(15件)
- ・犬の健康管理のためのフォローアップ(16件)

- ・犬の問題行動のためのフォローアップ（13件）
- ・犬の預かり時に実施したフォローアップ（36件）

#### ④貸与希望者

視覚障がい者個人ならびに団体等に対して体験歩行会を催し、盲導犬の新規貸与希望者の開拓を例年どおり実施した。（下記、⑤視覚障がい者を対象にした啓発活動 参照）

#### ⑤視覚障がい者を対象にした啓発活動

a. 団体からの要請を受け、地域での体験歩行会を実施した。

- 6月 1日 京都ライトハウス鳥居寮
- 6月11日 歩こう会（長居運動公園）
- 7月23日 歩こう会
- 9月10日 歩こう会
- 9月26日～27日 視覚障害リハビリテーション研究発表大会
- 10月 8日 歩こう会
- 10月25日 京都ライトハウスまつり
- 11月12日 歩こう会
- 11月22日 JRPS 北部交流会
- 11月28日 市立池田病院ロービジョンサロン
- 12月 9日 歩こう会
- 1月29日 大津市視覚障害者協会
- 2月 4日 京都府立盲学校舞鶴分校
- 2月 9日 茶・い・夢（網膜色素変性症女性の会）
- 3月11日 歩こう会
- 3月17日 広島市身体障害者リハビリテーションセンター

b. 機関誌「ハーネス通信」の点字・テープ・電子データ版を発行した。

c. ユーザーが居住する市町村における盲導犬助成施策について調査した。（2010年3月末集計中）

### (3) 相談事業

2009年度の苦情・相談件数は苦情19件・相談24件であった。

協会への苦情は謝罪とともに業務改善を諮る、ユーザーへの苦情はフォローアップの実施、協会支援者への苦情は、支援者に確認をとり改善策を提示するなど、各々の苦情に対して適切に対処し問題解決にあたるとともに、相談に対しても適切に対処した。詳細は次のとおりであった。

#### ①苦情内容ならびに件数

a. 協会に対する苦情8件

- ・事務的ミスについて（1件）
- ・協会職員の対応について（2件）
- ・ボランティアへの対応について（3件）
- ・盲導犬ユーザーからの「盲導犬の情報の扱い」について（1件）
- ・ホームページの視覚障がい者用テキストページの表記について（1件）

b. 盲導犬ユーザーに関する苦情8件

- ・盲導犬を伴った危険な道路横断について（2件）
- ・盲導犬ユーザーの盲導犬への接し方について（6件）

c. 協会支援者に対する苦情3件

- ・パピーウォーカーのパピー管理について（2件）
- ・募金箱設置店の募金金額の掲示について（1件）

## ②相談内容ならびに件数

- 盲導犬ユーザーからの相談 13件
  - ・施設等の受入について（11件）
  - ・通行人が無断で盲導犬の写真を撮ったことについて（1件）
  - ・散歩のペット犬への対応について（1件）
- 一般市民からの相談 5件
  - ・盲導犬ユーザーが盲導犬を待たせる場所について（1件）
  - ・キャリアチェンジ犬オーナーの犬の管理について（1件）
  - ・寄付について（1件）
  - ・盲導犬ユーザーの道路横断について（1件）
  - ・疑わしい募金活動について（1件）
- 事業者からの相談 2件
  - ・盲導犬ユーザーの雇い入れについて（2件）
- 視覚障がい者からの相談 2件
  - ・宿泊施設での盲導犬ユーザーが配慮すべきことについて（1件）
  - ・盲導犬希望者からのマンションでの受入について（1件）
- 支援者からの相談 2件
  - ・インターネットでの掲示について（1件）
  - ・盲導犬ユーザーが飲食店受入拒否を受けたことについて（1件）

③歩行指導期間中ならびに修了直後に、歩行指導を受けた視覚障がい者からの相談・苦情を受け付ける機会を設け、歩行指導の改善に努めた。

④身体障害者補助犬法で定められている都道府県・政令都市・中核市の相談窓口での相談対応状況についてアンケート調査を行い、NPO法人全国盲導犬施設連合会発行の「盲導犬情報」を通じて、盲導犬ユーザーおよび行政機関に報告した。

## (4) 啓発普及事業

- 盲導犬ユーザーを講師とする講演活動を積極的に勧めた。（講演件数40件、昨年比+9件）
- ホームページの内容をより充実・アクセスしやすいものにするためリニューアル作業を実施した。（2010年3月末、作業中）
- 機関誌「ハーネス通信」を4月・7月・10月・1月に発行した。また編集に、当協会法人会員である「ウィズ・クリエイト」社に協力を依頼し、内容・デザイン等のアドバイスを受ける体制にした。
- 盲導犬事業への正しい理解の普及を目的に、訓練センター見学および講演活動を行った。訓練センターの見学については、毎月第三土曜日を定例見学会とし468名、団体からの依頼等で48団体（1198名）の見学に対応した。講演など訓練センター外での啓発活動は、184件（うち40件は盲導犬ユーザーの講演）を行った。内訳は、学校での講演活動108件、学校外のイベント等での講演・啓発活動55件、寄付拝受時の講演・啓発活動21件であった。他に協会主催のイベント「夏休み親子体験会」（8月）を企画し、4家族10人の参加があった。
- 亀岡市地域交流事業として、以下の事業を行った。
  - 4月29日 オープンデー（参加者550名）
  - 3月21日 盲導犬ユーザーのお話とバリアフリー映画上映会（参加者100名）
 また、亀岡市内の小中学校等のべ15件に対しセンター見学の対応・講演を行った。

- ⑥関係団体および関係施設が主催する事業に対し、職員を派遣するなどの協力を行った。
- a. 関西盲導犬協会盲導犬ユーザーの会（つつじの会）
    - 5月10日 総会
    - 9月26日～27日 研修会（山梨県）
    - 12月6日 学習会
  - b. 京都ハーネスの会・びわこハーネスの会等、地域の盲導犬ユーザー団体
    - 7月25日 びわこハーネスの会
    - 7月26日 京都ハーネスの会落語会
    - 8月 9日 京都ハーネスの会
    - 9月13日 京都ハーネスの会
    - 1月31日 京都ハーネスの会
  - c. 全日本盲導犬使用者の会
    - 9月22日～23日 全国交流会（大阪市）
    - 10月 2日～ 3日 ウォークリレー（京都市）
    - 10月 9日～10日 ウォークリレー（滋賀県）
  - d. クイールの会
    - 4月26日 総会
    - 11月29日 餅つき会
    - 3月14日 チャリティーコンサート
    - 毎月第2土曜日 世話役会
  - e. NPO 法人全国盲導犬施設連合会
    - 9月 1日 「盲導犬情報」第3号発行
    - 9月29日 全国盲導犬施設連合会主催資格認定委員会
    - 10月 3日 動物感謝デー（東京・駒沢公園）
    - 3月31日 「盲導犬情報」第4号発行
    - 1月～（継続中） 盲導犬を持たない視覚障がい者および各地域の盲導犬ユーザーの団体を対象としたアンケート調査
  - f. 京都ライトハウス・京都府視覚障害者協会・紫野福祉センターとの共催事業
    - 9月 7日 新人職員研修会
    - 10月 4日 白杖安全デー
    - 10月11日 白杖安全デー南部集会
    - 1月21日～24日 あい・らぶ・ふえあ
    - 3月 7日 視覚障害者京都マラソン大会
  - g. 京都府身体障害者厚生相談所が主催する視覚相談会
    - 5月19日 与謝野町
    - 7月16日 亀岡市
    - 9月15日 八幡市
    - 11月17日 長岡京市
    - 1月19日 木津川市
    - 3月18日 舞鶴市
  - h. 日本盲人社会福祉施設協議会
    - 6月25日～26日 全国盲人福祉施設大会（宮崎県）
    - 11月12日～13日 日本盲人社会福祉施設協議会リハビリテーション部会職員研修会（主管）
  - i. 視覚障害リハビリテーション研究発表大会

9月25日 口頭発表「地域の白杖歩行訓練士と盲導犬訓練センターの連携の可能性」  
j. 日本身体障害者補助犬学会 第3回学術大会  
10月18日 口頭発表「盲導犬普及の地域格差に関する一考察」

- ⑦盲導犬に関する写真パネル・書籍・啓発DVD等の資料について13件の貸出を行った。  
(内訳 企業2件・行政2件・学校9件)

### Ⅲ. 整備計画

下記、設備等の整備を実施した。

- (1) 新犬舎棟の増設(予算2,000万円)  
総額21,372,750円(内訳 増築費19,582,500円、変更箇所追加工事372,750円、設計費1,417,500円)
- (2) 新犬舎増築に伴う既存設備の改築  
総額856,380円(内訳 既存排便所外構工事・既存排便所屋根補修工事・医務室前外構工事577,500円、犬舎見学用窓設置工事278,880円)
- (3) 二階室内排便所の設置(予算65万円)  
総額619,500円(2階給湯室改築)
- (4) 事務室電気容量増設  
総額165,530円
- (5) 車輦入れ替え(下取り価格含む予算120万円)  
下取費190,000円  
軽自動車購入費749,750円(パピー巡回用)
- (6) 厨房・1階トイレの改築(予算850万円)については、新犬舎増築に伴った既存設備の改築を優先的に実施したため、2009年度中の改築は中止とした。